

かわすいしつしひょうせいぶつ 川の水質と指標生物

水のきれいさの水質となる生き物のことを「指標生物」といいます。指標生物は「日本全国に広く分布している」、「見つけやすく区別しやすい」、「水のよごれに敏感」などの理由で30種類が指定されています。では、この指標生物はどんな水質の場所で見つかるのでしょうか。水のきれいさの区分(水質階級)別に見てみましょう。

すいしつかいきゅういち
水質階級I



みず きれいな水

水は透明で、川底まで見え、みなさんが川の中に入って遊びたくなるようなところです。
川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。

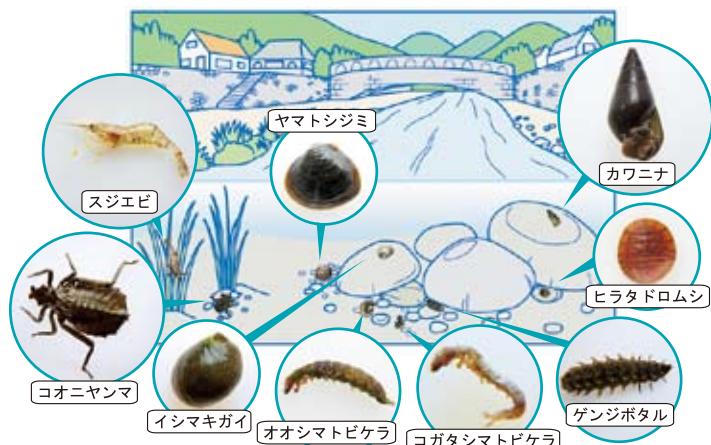


すいしつかいきゅうに
水質階級II



みず 少しきたない水

まわりには田んぼがあって、水がややにごっているようなところです。川の中の石を持ち上げるとたくさんの生き物を見るることができます。



すいしつかいきゅうさん
水質階級III



みず きたない水

排水路が川につながっていたり、まわりには多くの人家が見られたりするようなところです。川底は泥っぽくなっています。



すいしつかいきゅうよん
水質階級IV



みず 大変きたない水

まわりには工場などが多く、人がたくさんすんでいるようなところです。川の水はにごっていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

